

「スポーツの意義、トップアスリートの心構え、セカンドキャリアについて」特別授業を実施しました

7月2日(金)に仙台大学副学長の南條充寿先生から講話をしていただきました。トップアスリートに必要なことやリオ・オリンピック選手の引退後の話など、スポーツ選手の引退後のセカンドキャリアについて具体的なお話をいただきました。

生徒にとっても、今後の学校生活や競技引退後の生活について考える、とても良い機会になりました。

◆◆ 生徒の感想 ◆◆

自分自身にとっても活かされることが多かったです。まず、明確な目標を持つということの大切さです。目標を明確にすることにより、その目標に向けた行動がさらに具体的になります。そして「最初からチャンピオンはいない」という言葉も心に残っています。「チャンピオンはその機を逃さない考え方と行動ができています」ということを学びました。将来、必ず現役生活に終わりがあります。しかしセカンドキャリアをスタートする時は必ず0ではなく1からのスタートになります。今までスポーツに使ってきたエネルギーがある限り必ずこれまでの過程が活かされるということがわかりました。私はこれからプロを目指します。目標に向かって頑張り、セカンドキャリアも素晴らしいものにしたいです。今日は講話が聞けて良かったです。

【ベガルタ・男子】

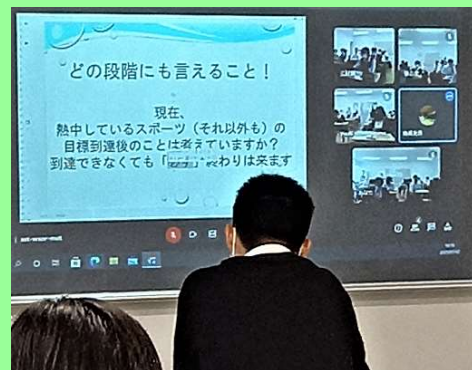


スポーツ選手として「目的」や「目標」を持つことの大切さ、「普通のことが普通のできること」の大切さを学びました。そしてこれらがトップアスリートを目指す上でも重要であり、セカンドキャリアにも繋がるという事がわかりました。私は競技を続けていく上で勝つための準備と明確な目標を持ち、チャンスを逃さない考え方と行動ができるようにしていきたいです。現在私はセカンドキャリアについて明確な目標があります。私自身の目標を実現できるように、日々努力を積み重ねていきたいと思えます。

【体操部・女子】

今回の話を聞いて、明確な目標を立て、それに向かって努力することが大切だと学びました。練習で、チャンスを逃さない選手になるために、状況に合わせて必要な行動をとることが大切だとわかりました。また、「準備をする」ことの大切さも学んだので、何事にもしっかり目的・目標をもち、事前に準備することを意識して生活していきたいと思えます。

【マイナビ・女子】



- ・ICT環境の整った教室で、仙台大のサテライトとして、リモートによる授業が行われています。
- ・仙台大学の先生による専門的な授業が受けられます。